Daiwa House Group

個人投資家の皆様へ

大和ハウスグループの取り組み

2021年10月

大和ハウス工業株式会社
経営管理本部　IR室

Daiwa House Group

本日ご説明する内容

1. 会社概要

2. 事業を通じた社会課題への取り組み

3. 資本政策・株主還元ほか

© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

1. 会社概要

2. 事業を通じた社会課題への取り組み

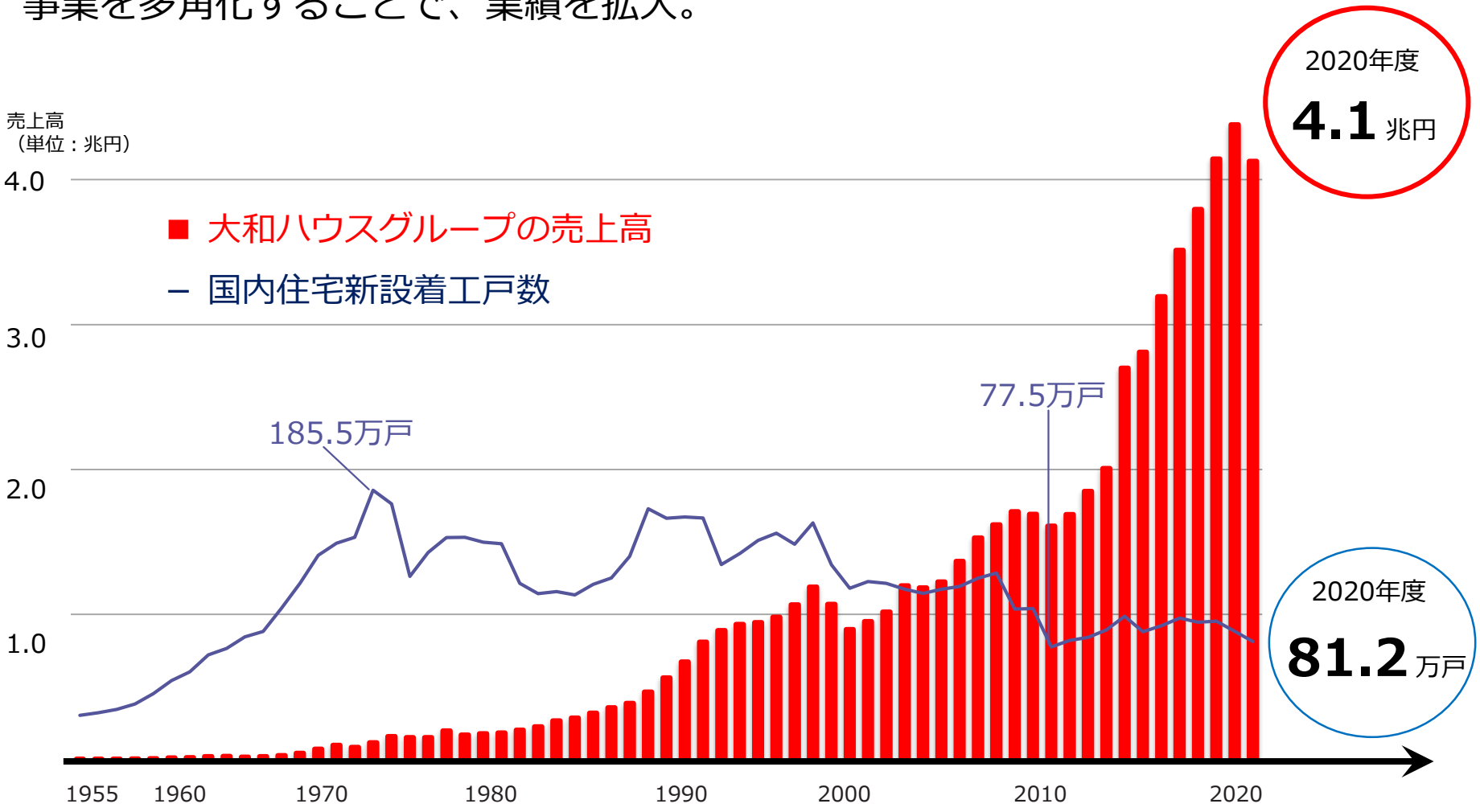
3. 資本政策・株主還元ほか

© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

事業概要 - 事業の多角化により業績を拡大

Daiwa House Group®

住宅の需要増大とともにプレハブ住宅メーカーとして成長しながらも
事業を多角化することで、業績を拡大。



© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

事業概要 - 世の中の役に立つ事業の推進

創業者精神

「儲かるからではなく、
世の中の役に立つからやる」

創業商品「パイプハウス」

戸建住宅

賃貸住宅

ロードサイド店舗

再生可能エネルギー発電所

海外マンション

3時間で建つ勉強部屋
「ミゼットハウス」

民間初の大規模開発団地

リゾートホテル

ホームセンター

大型物流施設

都市型ホテル

1955　1960　1970　1980　1990　2000　2010　2020

創業者精神を原点に事業を多角化

© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

事業概要 – 大和ハウスの事業セグメント

Daiwa House Group®

■ 2020年度　売上高構成比

戸建住宅事業

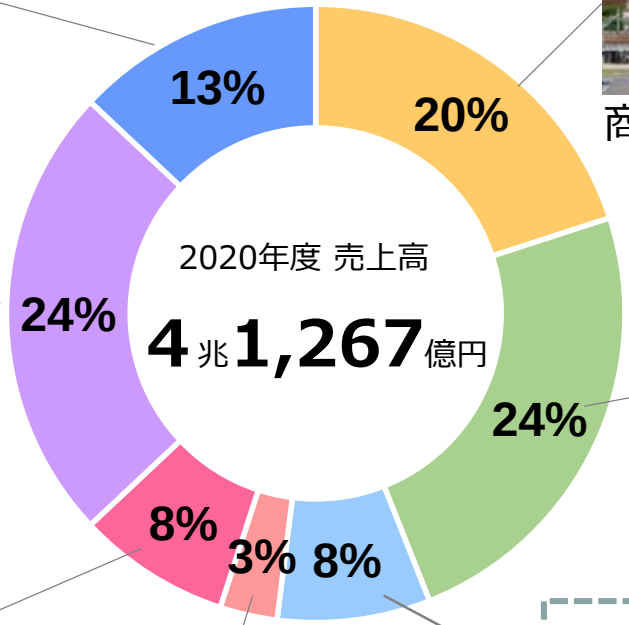
商業施設事業

賃貸住宅事業

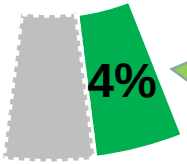
事業施設事業

マンション事業

住宅ストック事業



その他事業



環境エネルギー事業

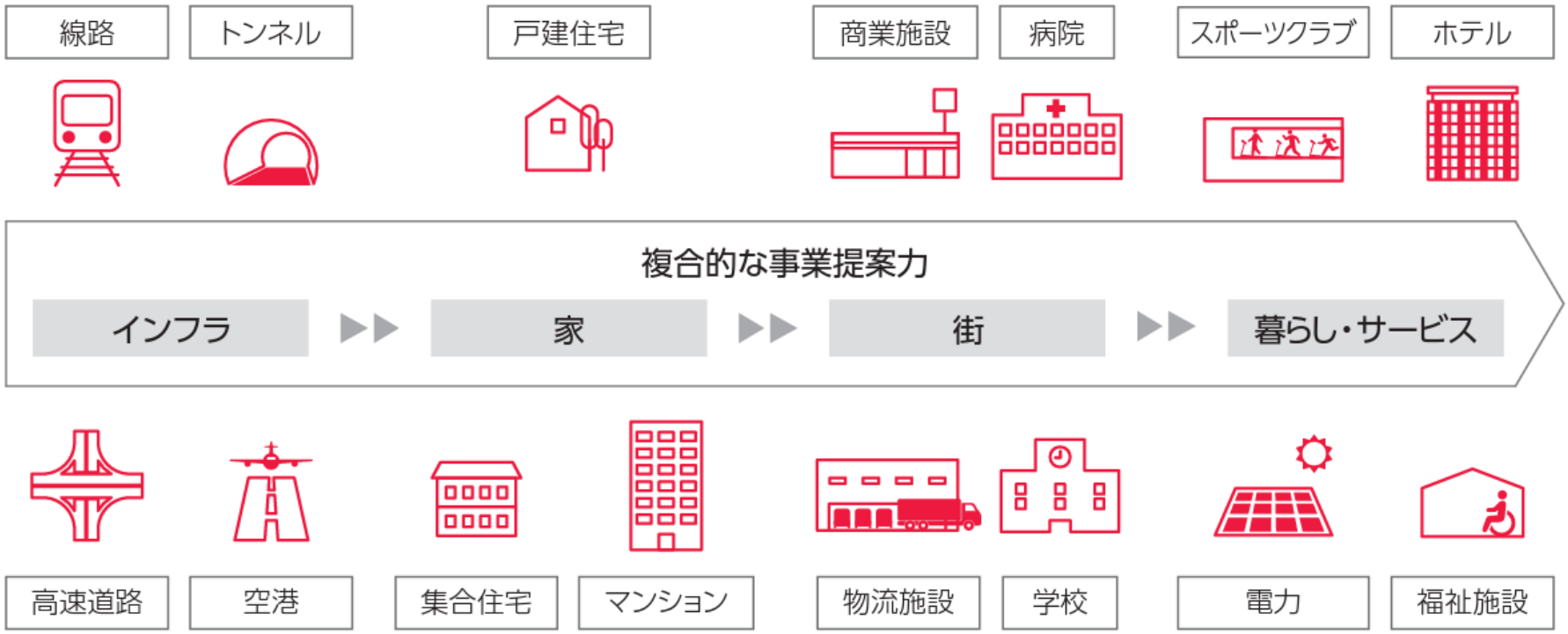
注:セグメント間の内部取引を含む

© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

当社の最大の強み－複合的な事業提案力

Daiwa House Group®

土地を起点とした複合的な事業提案力が最大の強み。
多様な事業領域を活かしたシナジーを創出するとともに、
バリューチェーンを強化・拡大することで、収益ポートフォリオを多様化。



世界共通の目標SDGsの１７項目

© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

事業紹介動画をご覧ください。

（大和ハウスグループ事業紹介動画）
https://www.daiwahouse.com/about/corporate_movie.html
当社グループホームページ →「会社情報」→「動画で見る大和ハウスグループ」

© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

1. 会社概要

2. 事業を通じた社会課題への取り組み

3. 資本政策・株主還元ほか

© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

外部環境・社会の変化

Daiwa House Group®

私たちを取り巻く環境・社会の変化は急速に変化しています。
その変化を常に先読みし、経営に与えるリスク・事業機会を見極めなければ
価値を創造し続けることは難しいと考えます。

日本人口の減少

2050年頃に、人口は1億人前後に
生産年齢人口(日本）は5,000万人までとなり、
2000年比で3,600万人減少する
地方の過疎化・空き家問題

総務省

世界人口の増加

2050年代後半に
世界人口100億人に達する（現在78.7億人）

高齢化は世界各地で進む

国連

気候変動の顕在化

海面上昇の進展、一部の沿岸部大都市などが浸水

気候変動難民の大量発生（1.43億人増とも）

世界銀行

カーボンニュートラルに向けた動きの加速

先進国を筆頭に、カーボンニュートラル化が推進され、
電力・モビリティの電動化が大きく進む

経済産業省、内閣府他

価値観の多様化

働き方・住まい方の変化
ニューノーマルへの対応
eコマース需要拡大

社会問題の深刻化

格差社会・人権問題

© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

世の中の課題を解決する大和ハウス

Daiwa House Group®

課題・影響	解決策
気候変動の顕在化	環境貢献型の事業活動
価値観の多様化	ニューノーマルに対応する商品・サービス

© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

世の中の課題を解決する大和ハウス

Daiwa House Group®

課題・影響

解決策

気候変動の顕在化

環境貢献型の
事業活動

価値観の多様化

ニューノーマル
に対応する
商品・サービス

© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

世界標準の高い目標を掲げ、「脱炭素」を推進

Daiwa House Group®

大和ハウスグループは、建設業界で世界初、４つの国際イニシアティブに参画。
財務影響を分析・開示し、投資家との対話を通じて、戦略を精緻化。

省エネ		再エネ		CO2削減
EP 100	＋	RE 100	＝	SCIENCE BASED TARGETS DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION
エネルギー効率2倍		再生エネルギー100%		パリ協定に沿った2℃目標
※2018/03 加盟		※2018/03 加盟		※2018/08 認定

取組みの加速 ↓↑ 戦略の精緻化

TCFD TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED FINANCIAL DISCLOSURES

気候変動における財務影響開示

※2018/09 賛同表明

- ガバナンス
- リスク管理
- 戦略
- 指標目標

© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

“脱炭素”への戦略的アプローチは環境負荷低減と企業収益の両立

自社で取組む「省・創・蓄エネ」の成果を、事業の競争力向上へ

リスク低減へ、世界標準の目標を掲げて、自社活動の「脱炭素」を推進

SBT
（CO_2削減）

温室効果ガス排出量（売上高当たり）

2030年：▲50%（2015年比）
2050年：ネットゼロへ挑戦

EP100
（省エネ）

エネルギー効率（売上高÷エネ消費量）

2030年：2.0倍（2015年比）

＋

RE100
（再エネ）

再エネ利用率（再エネ利用量÷電力使用量）

2030年：　70%
2040年：100%

好循環

事業機会の獲得へ、お客さまと共に、「再エネ100%」の街づくりを推進

住宅

再エネ自給型ZEH
－ゼロ･エネと快適・安心の両立－

＋

建築

D’s SMART シリーズ
－ゼロ･エネと生産性・BCPの実現－

＋

街づくり

コReカラ・シティ
－郊外型複合街づくりの展開－

&

環境エネルギー事業
－省エネ･創エネ･蓄エネ･電力小売－

11 住み続けられるまちづくりを

© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

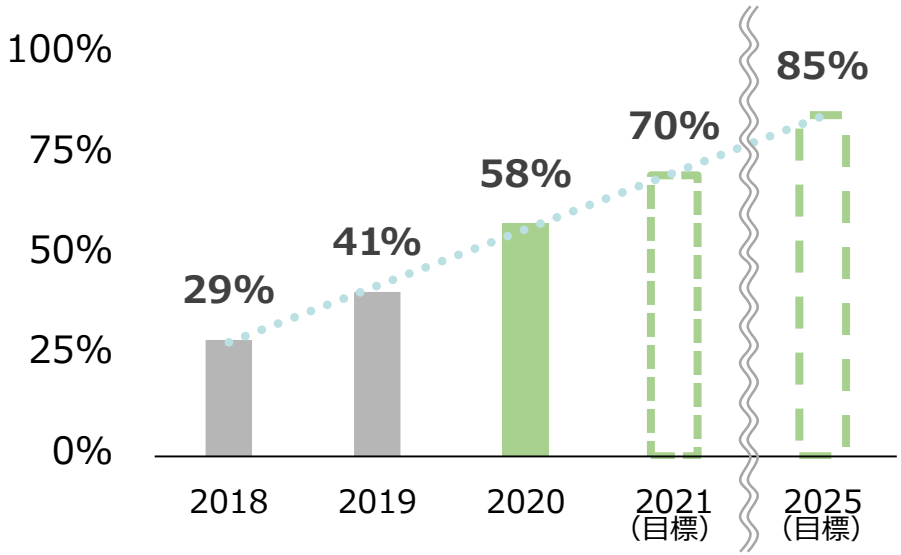
事例１． ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）標準対応商品の拡充

xevoΣ

xevo ADVANCE

Skye3 （スカイエスリー）

■ ZEH販売率（年度別）



※ZEHとは、断熱や省エネ設備の導入による省エネ性能の向上と、太陽光発電などによる
エネルギーの創出により、年間の一次エネルギー消費量が差し引きゼロとなることを目指した住宅

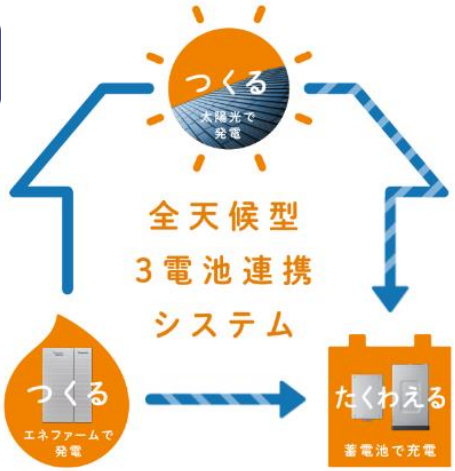
© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

事例２．災害に備える家 （2019年4月発売）

Daiwa House Group®

当社の防災配慮住宅は、電気を自給自足するだけでなく、
年々増加している自然災害に備える、〝安心がつづく〟住まいです。

停電



台風

防災防犯ガラス

高耐久軽量屋根材
「ROOGA（ルーガ）」

地震

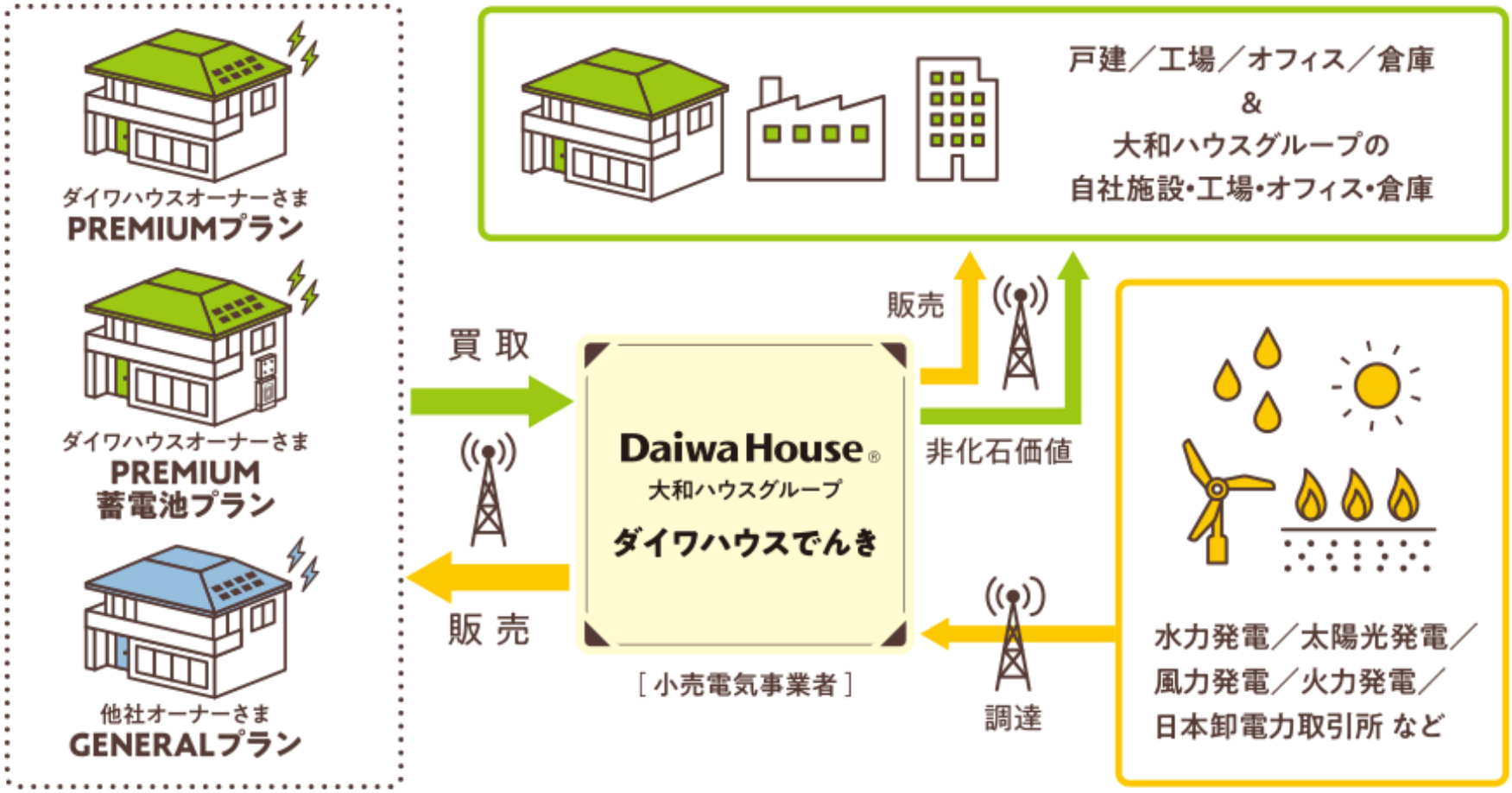
エネルギー吸収型耐力壁
「KyureK（キュレック）」

断水

© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

事例３．ダイワハウスでんき

卒FITを迎える戸建住宅オーナーさま向けの電力活用法として、
太陽光発電システムの**余剰電力買取サービス**、および**電力販売**を行っております。



© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

事例４． ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング)の推進

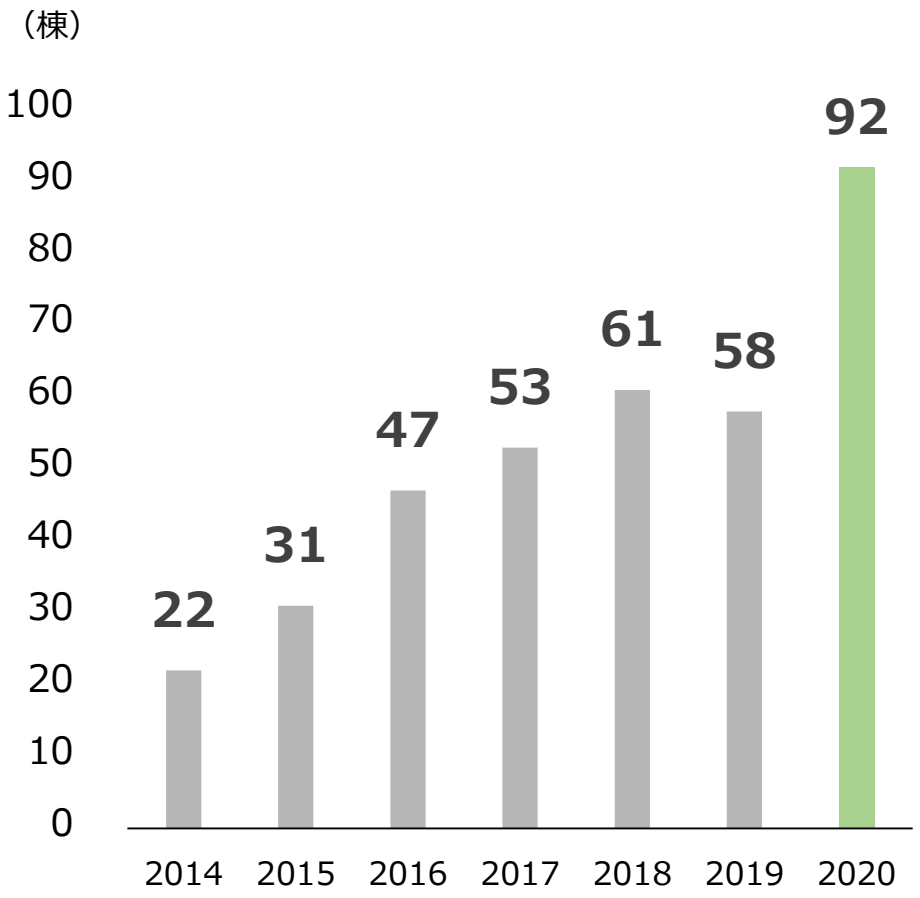
脱炭素社会の実現に向け、企業の気候変動への対応に向けた設備投資が期待される中、ZEB化に向けた企業提案を強化しております。

■ 自社施設のZEB化

研修施設「みらい価値共創センター」（奈良県）

■ ZEB施工事例（事務所）

■ 大和ハウスグループのZEB実績（年度別）



© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

事例５．再生可能エネルギーの発電

■ 再生可能エネルギーによる発電事業

DREAM Solar 宮崎国富（宮崎県）

DREAM Wind 愛媛西予（愛媛県）

再エネ発電率　（再エネ発電量÷電力使用量）

2030年目標：100%（売電含む）

2020年度　：133%

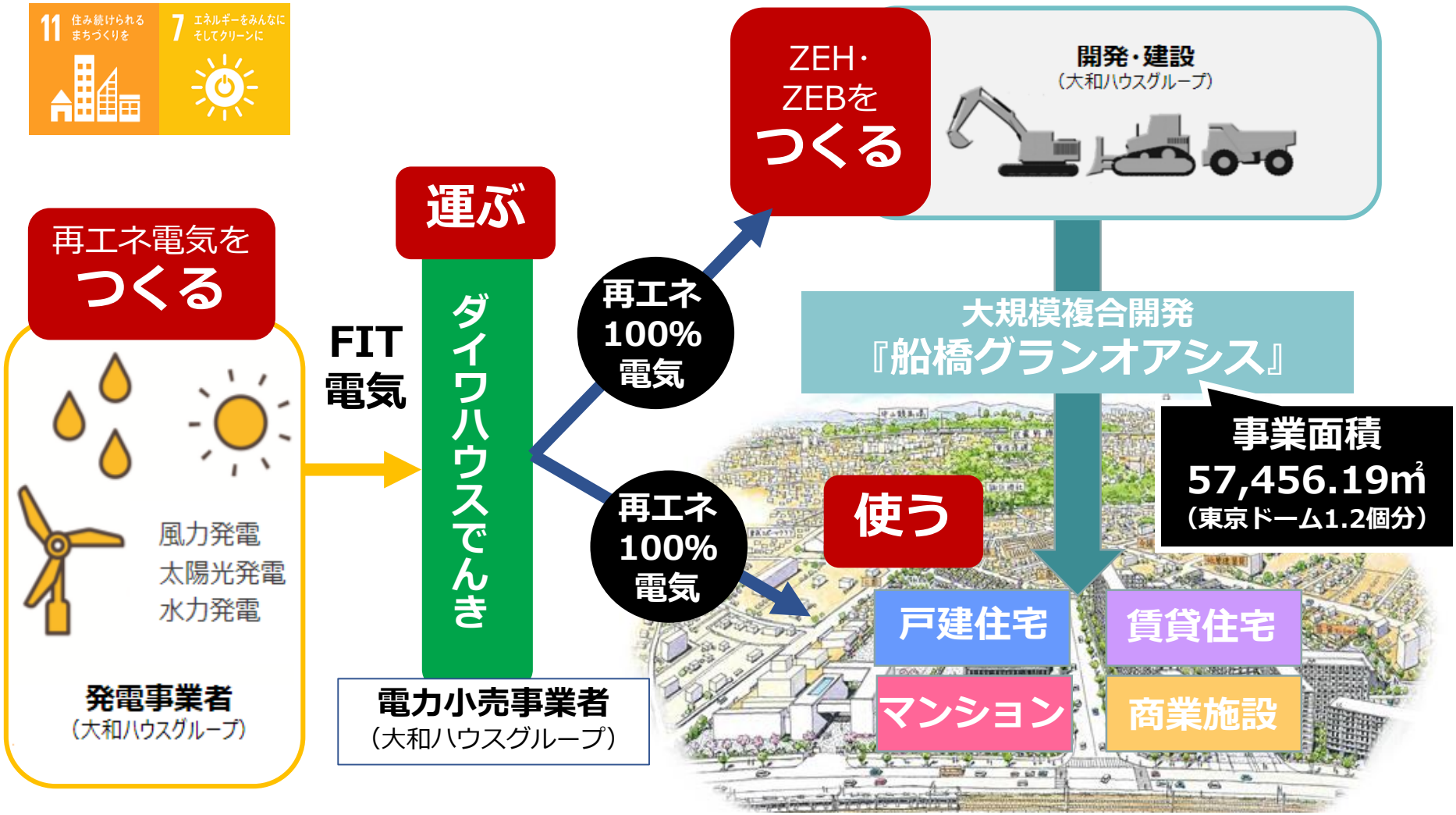
10年前倒しで達成！
377拠点で、588GWhを出力

© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

事例６．再生可能エネルギー100%のまちづくり

Daiwa House Group®

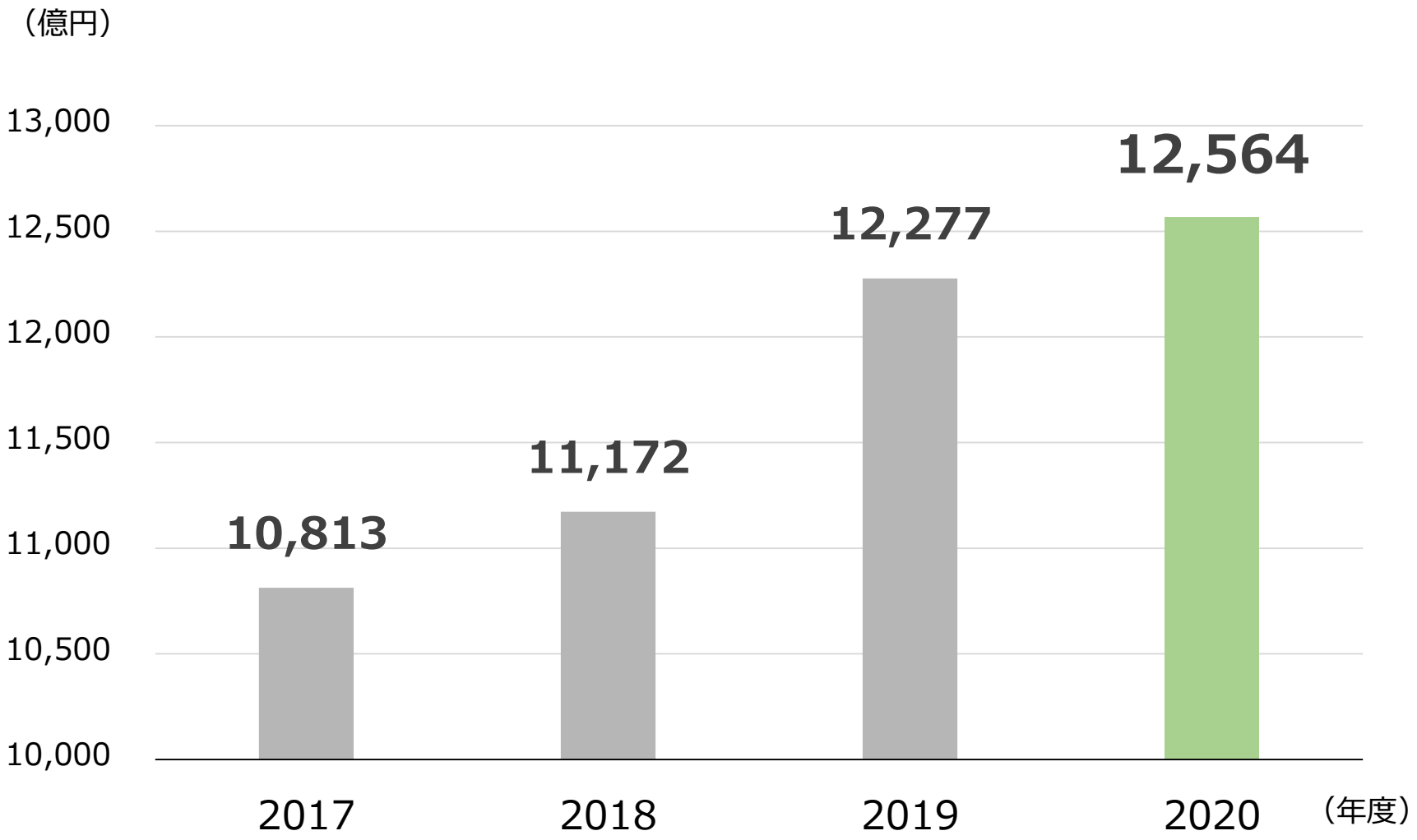
日本初　施工時から竣工後の暮らしに至るまで、再生エネルギー由来の電気のみを利用した
「船橋グランオアシス」（千葉県船橋市）が完成



© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

環境貢献型事業の売上高推移

当社グループの環境貢献型事業売上高は1兆円を超えております。



© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

自社活動における「脱炭素」と国際イニシアティブの進捗状況

Daiwa House Group®

リスク低減へ、世界標準の目標を掲げて、自社活動の「脱炭素」を推進。

テーマ	管理指標	2019 実績	2020 実績	2021 目標	2030 目標	長期目標
CO_2 削減（SBT）	**温室効果ガス排出量**	2015年比 32% 削減 (売上高あたり)	2015年比 **39%** **削減** (売上高あたり)	2015年比 **35%** **削減** (売上高あたり)	2015年比 **50%** **削減** (総量)	<2050年> **ネットゼロへ挑戦**
省エネ（EP100）	**エネルギー効率** (売上高÷エネルギー使用量)	2015年比 1.34倍	2015年比 **1.46倍**	2015年比 **1.4倍**	2015年比 **2.0倍**	-
再エネ（RE100）	**再エネ発電率（つくる）** (再エネ発電量÷電力使用量)	96%	**133%**	**100%**	**100%以上**	（自家消費へ）
	再エネ利用率（つかう） (再エネ利用量÷電力使用量)	0.3%	**9%** (単体30%)	**10%**	**70%**	<2040年> **100%**

10年前倒しで達成！

© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

世の中の課題を解決する大和ハウス

Daiwa House Group®

気候変動の顕在化

環境貢献型の
事業活動

課題・影響

解決策

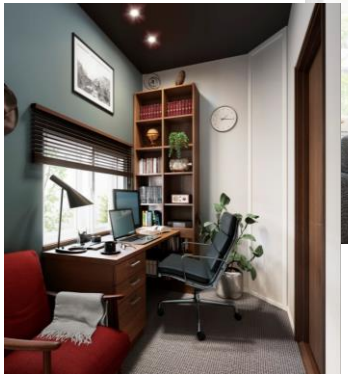
価値観の多様化

ニューノーマル
に対応する
商品・サービス

© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

「コロナ禍」で生まれた課題を解決する、

「ニューノーマル時代の住宅」を提供



2017年1月
家事シェアハウス
・家事を効率的にする「家事シェア動線」
・「ウイルス対策動線」で清潔な暮らしが習慣化

2019年11月
時流に先駆けて
WEB専用商品
Lifegenic販売

2020年6月
在宅勤務を快適に
テレワークスタイル
・快適ワークプレイス
・つながりワークピット

2020年10月
抗ウイルスきれい空気提案
奈良県立医大検証済
ウイルスを99%抑制

2021年2月
Lifegenic・テレワークスタイル
商品拡充

2020年4月
緊急事態宣言

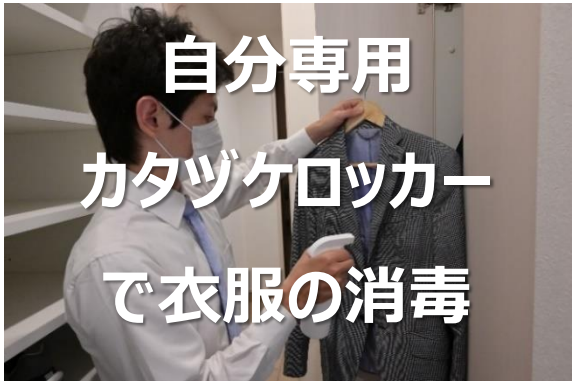
2021年1月
緊急事態宣言

2021年4月
緊急事態宣言

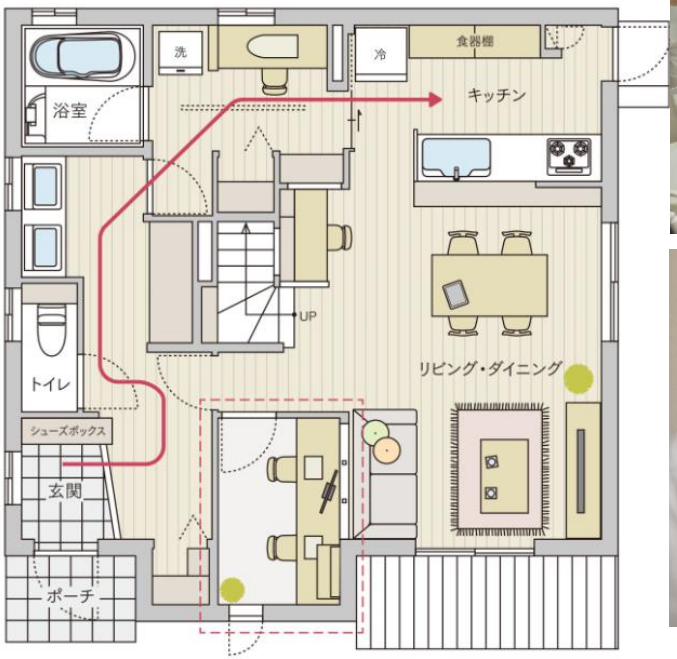
© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

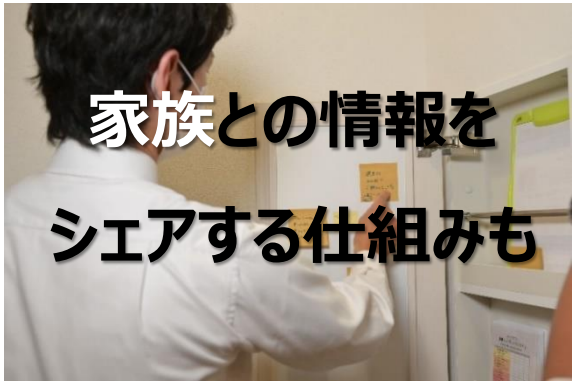
事例１．“ウイルス対策動線”で清潔な暮らし

「名もなき家事」に対応した“家事シェアハウス”
“ウイルス対策動線”で自然と清潔な暮らしが習慣化します。



家事シェア動線
ウイルス対策動線





家事シェア動線・ウイルス抑制導線は、
帰宅後リビングで寛ぐまでに身の回りのモノを収納、
手洗いと着替えまで済ませるため、リビングの散らかりを抑制する他、
ウイルスや花粉の持ち込みを防ぎます。

© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

事例２．WEB専用商品　Lifegenic（2019年11月発売）

Daiwa House Group®

「ライフジェニック」は、Web販売商品です。接客方法の見直しで働き方改革を推進します。
家づくりにおける打合せを簡潔にし、お客さまが楽しく簡単に家づくりを体験できます。

最低価格1,978万円（税込）※1　を実現しながら、
太陽光発電パネルなどを搭載することで、標準仕様でZEH※2　を達成できます。

※1.延床面積97.72㎡を想定した建物本体工事費の参考金額です。建設地などにより、仕様及び金額が異なる場合があります。
※2.建設地などの諸条件によりZEHに対応できない場合があります

© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

事例３．テレワークスタイル　（2020年6月発売）

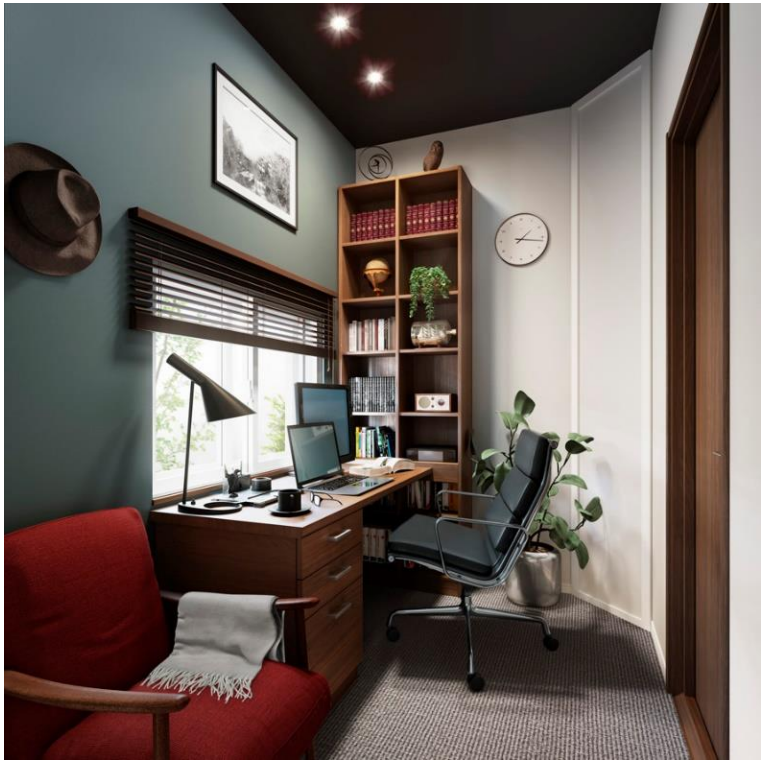
Daiwa House Group®

当社独自のノウハウを活かした　仕事に集中できる「防音個室」：**快適ワークプレイス**
仕事と暮らしの両立ができる「家族とつながる空間」：**つながりワークピット**

クローズド空間

快適ワークプレイス

図書館同等の静けさを可能にする防音技術で集中



セミクローズ空間

つながりワークピット

家族とゆるやかにつながりつつ効率的に仕事をこなす

© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

事例４．巣ごもり消費拡大に対応する積極的な物流施設開発

Daiwa House Group®

ネット通販で需要が拡大する物流施設の開発をさらに推進
棟数・延床面積とも**国内No.1の実績。**　（※2021年3月末時点）

BTS型

開発棟数
223棟

開発延床面積
約 **5,040,500**㎡

マルチテナント型

開発棟数
70棟

開発延床面積
約 **5,095,500**㎡

■「第6次中期経営計画」における投資計画：1兆3,500億円（2020.6修正）

不動産開発　10,000					
賃貸住宅 500	商業施設 1,500	**事業施設（物流施設） 6,500**	海外 1,500	設備投資 2,500	M&A 1,000

© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

事例５．高機能な物流施設開発と、物流ソリューションの強化

Daiwa House Group®

Daiwa House®

出資

ママスクエアへ出資。
近隣に住む20代・30代の子育て世代の雇用を掘り起こし、働くお母様がお子様と離れずに仕事が出来る【職住近接】のワーキングスタイルを実現し働き方改革を推進。

Daiwa LogiTech
Daiwa House Group®

株式会社ダイワロジテック
物流ＩＴ企業のホールディングス

Frameworx（Daiwa House Group®）
フレームワークス
物流システム構築
物流コンサルティング

monoplus
モノプラス
クラウドシステムの
構築支援

acca
アッカ・インターナショナル
ネット通販の
フルフィルメント事業

GROUND Inc. *Creating "Intelligent Logistics" — LogiTech Leading Company —*
グラウンド
自動搬送ロボット
システムの販売

MOVO Hacobu
ハコブ
クラウド型配車・
運行管理システム

■アッカ・インターナショナルとNIKE　戦略的パートナーシップ契約を締結

2019年6月、千葉県市川市の物流センター内に、NIKE社のフルフィルメントセンター「The DUNK」を開設。NIKE直営店およびECサイト向けのアパレル商品を取り扱い、物流・在庫管理、ささげ（商品撮影や採寸、原稿作成）などのフルフィルメントサービスを受託し、一気通貫で提供している。今後も先進的な物流センターを、国内に順次展開していく予定。

© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

1. 会社概要

2. 事業を通じた社会課題への取り組み

3. 資本政策・株主還元ほか

© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

中期経営計画の進捗

Daiwa House Group®

2021年度は第6次中期経営計画の最終年度。
来年５月に次期中期経営計画を公表予定。

第6次中期経営計画（3カ年）
ガバナンス再構築

第7次中期
経営計画（5カ年）

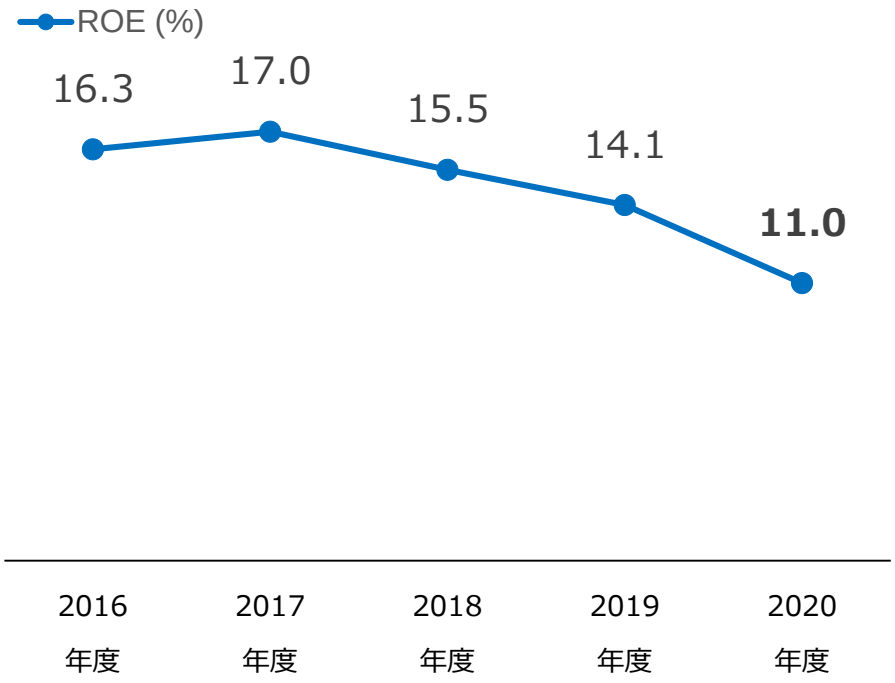
単位：億円	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 計画	2022～2026年度 （来年５月発表予定）
売上高	43,802	41,267	43,000	事業本部制 における 攻めと守り による 成長
営業利益	3,811	3,571	3,200	
経常利益	3,676	3,378	3,160	
当期純利益	2,336	1,950	2,150	

© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

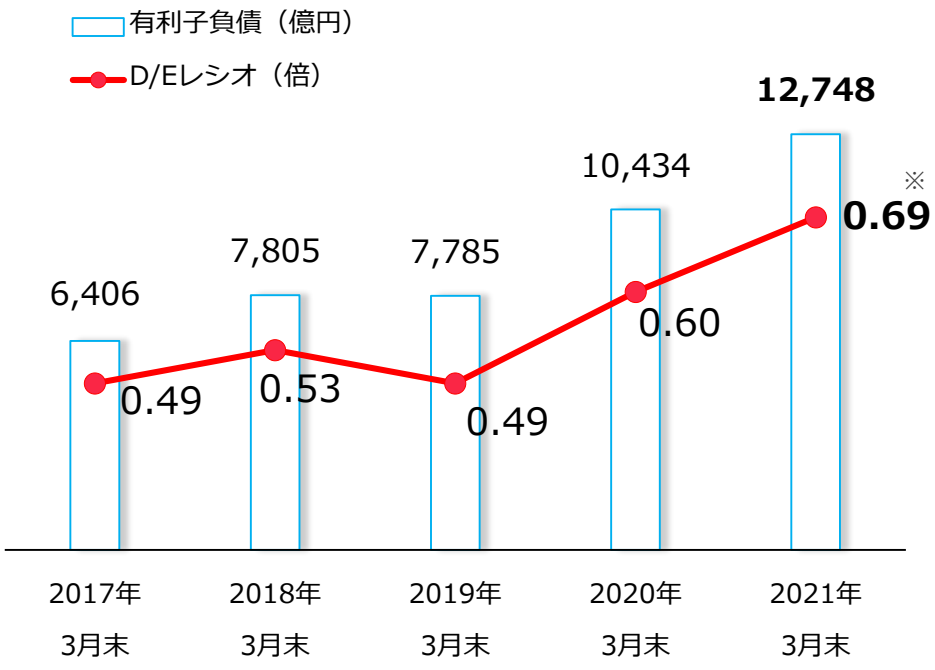
資本政策

財務の健全性を維持しながら、
株主資本の有効な活用により株主価値の持続的な成長を図る。

ROE 13%以上



D/Eレシオ 0.5倍程度



※ ハイブリッドファイナンス考慮後のDEレシオは0.59となります

© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

配当性向30%以上、かつ安定的な配当の維持に努めており、
2009年の17円から11期連続の増配を実現しています。

●利益配分の考え方

事業活動

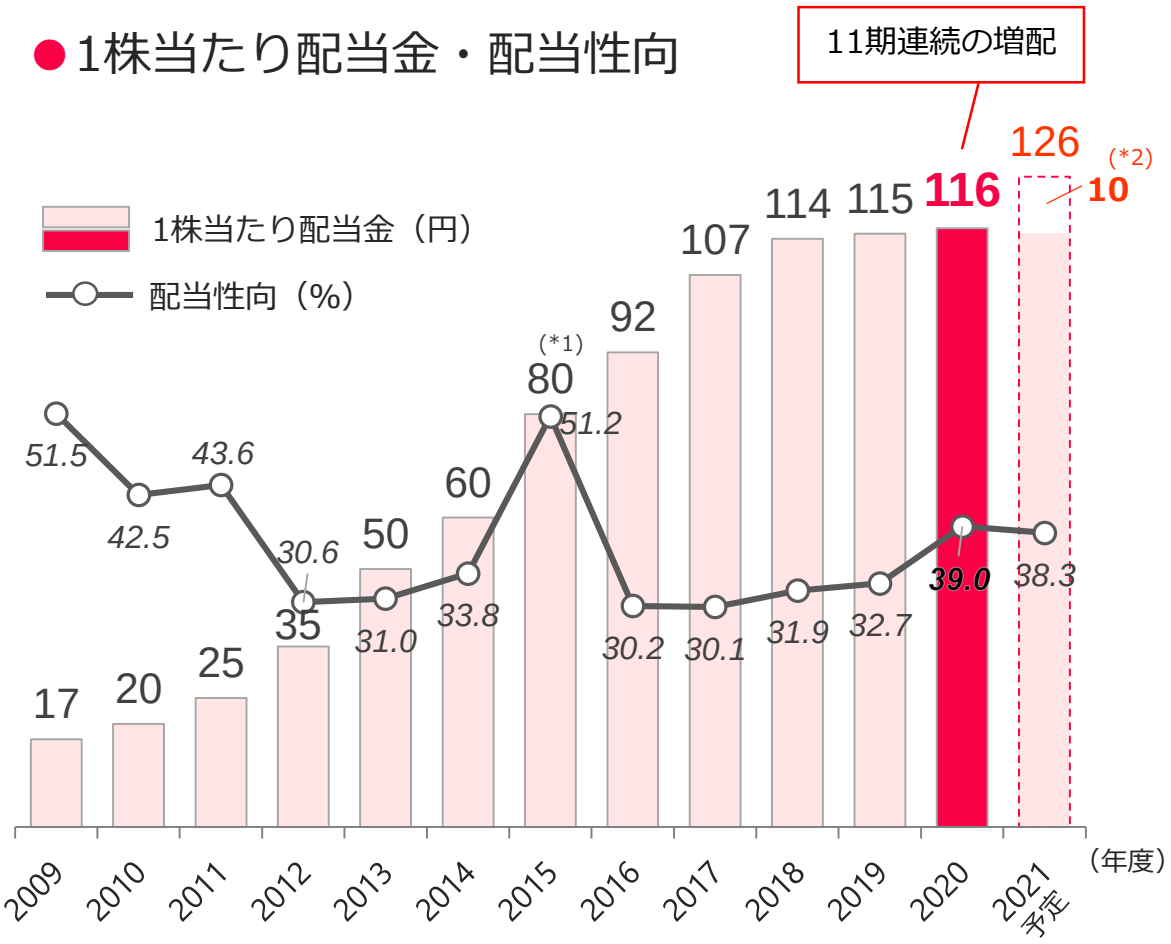
利益創出 ⇩ ⇧ 投資活動

営業キャッシュフロー

⇩ 株主還元

配当性向
３０%以上
機動的な
自己株式取得の実施

●1株当たり配当金・配当性向



*1：2015年度は、60周年記念配当10円を含む
*2：2021年度は、創業者生誕100周年記念配当10円を含む

© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

株主優待のご案内

株主優待制度として、

保有株式数に応じて共通ご利用券（株主優待券）を贈呈しています。

保有株数	贈呈枚数
100株～	1枚（1,000円）
300株～	3枚（3,000円）
500株～	5枚（5,000円）
1,000株～	10枚(10,000円)
3,000株～	30枚(30,000円)
5,000株～	50枚(50,000円)

© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

ご利用いただける当社グループ施設

Daiwa House Group®

当社関連施設ならびに株主優待専用グルメギフト、
社会貢献活動への寄付にご使用いただけます。

（施設数は2021年3月末現在）

ダイワロイネットホテルズ （62施設）

ダイワロイヤルホテル（28施設）

スポーツクラブNAS(ナス)（71店舗）

ロイヤルホームセンター（59店舗）

ラ・ジェント・ホテル（7施設）

ダイワロイヤルホテルシティ（8施設）

株主優待専用グルメギフト *写真はイメージです

大阪第一ホテル

ダイワロイヤルゴルフ（10ヵ所）

社会貢献活動への寄付
（吉野山の桜を保全する活動）

© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

IR活動のご紹介

Daiwa House Group®

● IR情報ウェブサイト

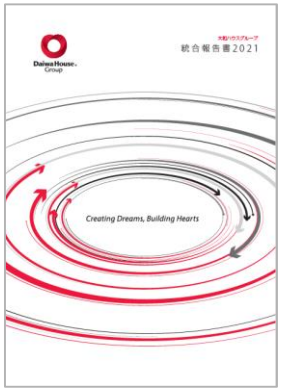
https://www.daiwahouse.com/ir/

「個人投資家の皆さまへ」から、
最新のIR情報がご覧いただけます

- 企業情報
- 業績・財務情報
- 株式に関する情報
- 大和ハウスグループの事業紹介　など

● 統合報告書

（※WEB上でのみ公開しており、冊子版はございません）



経営ビジョンに掲げる「人が心豊かに生きる社会の実現」のために、事業面・社会面・環境面から取り組むべきマテリアリティの解決に向けた第6次中期経営計画と当社グループの中長期的な企業価値向上に向けた取り組みを紹介しています

https://www.daiwahouse.com/ir/ar/

© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

基本情報（2021年4月1日現在）

商号	大和ハウス工業株式会社
創業日	1955年4月5日
代表者	代表取締役社長　芳井敬一
所在地	大阪市北区梅田三丁目3番5号
資本金	1,616億円
証券コード	1925　東証一部
従業員数	48,807人（連結）
グループ会社数	444社

直近の業績（2021年3月期）

売上高	4兆1,267億円
営業利益	3,571億円
経常利益	3,378億円
親会社株主に帰属する当期純利益	1,950億円
ROE	11.0%

株式情報　（2021年9月24日現在）

株価	3,820円
配当利回り	3.29%
単元株数	100株
株主優待	あり
PER（株価収益率）	11.6倍
PBR（株価純資産倍率）	1.34倍

© 2021 Daiwa House Group All rights reserved.

ありがとうございました。